

港区立麻布区民センター 指定管理者候補者選考委員会 報 告 書

令和5年7月4日

港区立麻布区民センター
指定管理者候補者選考委員会

目 次

はじめに

I	選考した指定管理者候補者について	1
II	選考経過について	2
III	選考対象者について	5
IV	選考結果について	5
V	最終選考結果について	8

はじめに

本報告書は、港区立麻布区民センターの指定管理者候補者を選考するにあたり、「港区立麻布区民センター指定管理者候補者選考委員会」における審査の経過及び結果について報告するものです。

港区が定めた「港区指定管理者制度運用指針」では、民間事業者等が持つノウハウやアイデア、専門性などを活用することにより、多様化する区民ニーズへの柔軟かつ迅速な対応や効率的で効果的な区民サービスの提供が可能となる施設については、積極的に指定管理者制度の導入を進めるとしています。

「港区立麻布区民センター指定管理者候補者選考委員会」は、このような視点を踏まえた上で、麻布区民センターの設置目的を最大限に活かし、効率的・効果的に区民サービスを提供することができる候補者の選考を行いました。

審査にあたっては、常に厳正さと公正さを確保するとともに、委員会として委員の総意の下に結論を導き出すよう努めました。

港区立麻布区民センター指定管理者候補者には、1事業者から応募があり、様々な提案を受けることができました。現状の課題を的確に捉え、かつ、将来を見据えた優れた提案であったため、指定管理者を公募した目的が十分達成されたものと喜ばしく感じています。

選ばれた事業者には、港区立麻布区民センター施設設置条例に定める目的の達成に向け、指定管理者として十二分に力を発揮されることを強く期待します。

令和5年7月4日

港区立麻布区民センター指定管理者候補者選考委員会
委員長 白石 賢

I 選考した指定管理者候補者について

1 指定管理者候補者

名 称	公益財団法人港区スポーツふれあい文化健康健康財団
代表者	理事長 田中 秀司
所在地	東京都港区赤坂四丁目18番13号

2 対象施設

施設の名称	所在地
港区立麻布区民センター	東京都港区六本木五丁目16番45号

3 指定期間 令和6年4月1日から令和11年3月31日（5年）

4 選考のポイント

- (1) 地域の拠点として、麻布・六本木の地域性を踏まえた具体的な提案と事業展開を通じて、地域振興や活性化に寄与し続けるという思いが高く評価できます。
- (2) 町会連合会、保育園、中高生プラザ、地域団体との連携についても主体的に展開していくことが提案されており、幅広い地域ネットワーク作りが期待できます。
- (3) 施設利用者の安全確保、外国人対応、障害者雇用への取組と、関係機関や地域との連携について、麻布区民センターの特徴を掴みながら、地域に出向いて直接声を聞きながら、地域の輪を広げていく姿勢が評価できます。
- (4) 法人全体で他受託施設と課題を共有して、麻布区民センターをバックアップする組織的な取組が評価できます。職員体制も人材の確保、育成、処遇など配慮しており、安定的に施設運営を行う事業者の姿勢と責任感があります。
- (5) 施設長予定者から、人材育成、職員と積極的なコミュニケーションを取る意欲や、新たな事業展開への意識を深く感じ、今後の新たな発展が期待できます。

Ⅱ 選考経過について

1 選考の方法

(1) 第一次審査

応募法人から提出された申請書類及び計画書類について、財務関係書類、基本的事項の適格審査、計画書類に対する評価をもとに総合的な審査を行い、第一次審査通過者として1事業者を選考しました。

(2) 第二次審査

第一次審査通過者に対して、プレゼンテーション及びヒアリングを行い、(第一次審査と第二次審査とを併せた)総合評価により指定管理者候補者を選考しました。

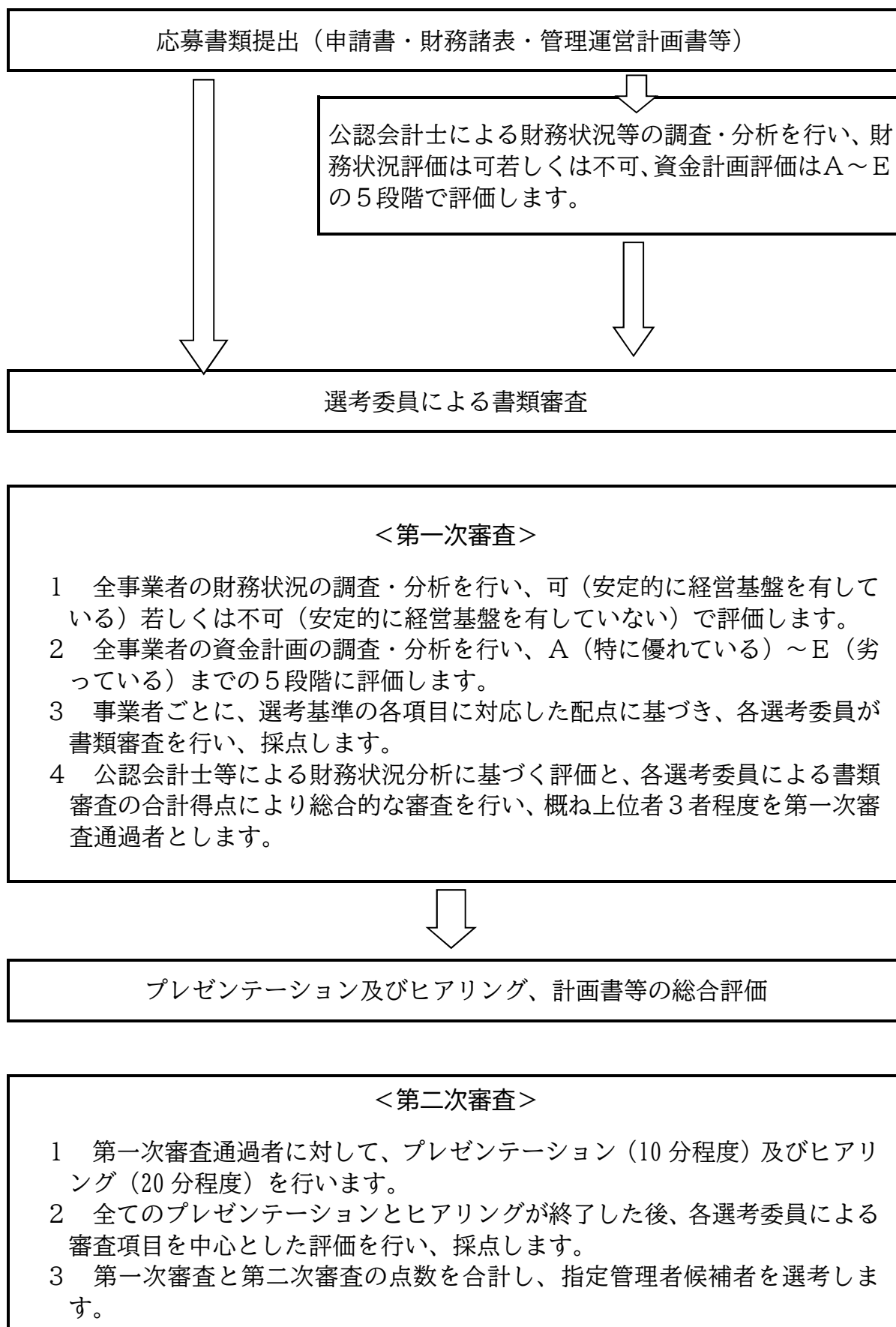
2 選考委員会の構成

委員長	白石 賢	東京都立大学都市環境学部教授
副委員長	富田 慎二	麻布地区総合支所長
委員	黒田 美亜紀	明治学院大学法学部教授
//	岩崎 克也	東海大学建築都市学部教授
//	重富 敦	赤坂地区総合支所管理課長

3 公認会計士

平山 友暁	Census Consulting 株式会社
-------	------------------------

4 選考の進め方



5 選考委員会等の開催状況及び経過

(1) 第1回選考委員会

日 時 令和5年2月7日（火曜）
午前10時30分から11時まで
場 所 オンライン会議
議 題 委員の委嘱について
候補者の選考方法について
公募要項について
選考基準について

(2) 公募手続

ア 公募要項説明会 令和5年2月28日（火曜）
イ 現地見学会 3月1日（水曜）
ウ 質問書受付 2月20日（月曜）～3月3日（金曜）
エ 質問への回答 3月17日（金曜）
オ 申請受付 2月20日（月曜）～5月26日（金曜）

(3) 第2回選考委員会（第一次審査）

日 時 令和5年6月15日（水曜） 午後6時から7時まで
場 所 オンライン会議
議 題 応募事業者の財務状況等について
第一次審査（書類審査）
第二次審査の方法について

(4) 第3回選考委員会

日 時 令和5年7月4日（火曜日）午前10時から11時まで
場 所 高輪地区総合支所管理課会議室
議 題 第二次審査（応募事業者によるプレゼンテーション）

Ⅲ 選考対象者について

No	事業者の名称	所在地
1	公益財団法人港区スポーツふれあい文化健康財団	港区赤坂四丁目18番13号

Ⅳ 選考結果について

1 第一次審査

(1) 財務状況分析等について

公認会計士による財務状況調査分析等報告書に基づき説明がありました。

ア 財務状況評価

各法人より提出された財務諸表（決算報告）を基に、財務規模、収益性、安全性について、数値及び比率分析等により、安定的に継続して指定管理業務を行うことができるか否かを、可若しくは不可の絶対評価を行いました。

イ 資金計画評価

各法人より提出された資金計画書を基に、資金・収支計画の正確性、安全性、収支見込の妥当性、運転資金調達の確実性、事業計画との整合性、経費見積もりの妥当性などについて数値及び比率分析により、A～Eの5段階総合評価を行いました。

(2) 選考基準表に基づく採点

選考委員ごとの評価した点数を合計し、全委員の採点した点数の合計による選考を実施しました。

順位	事業者の名称	財務状況 評価	資金計画 評価	合計点数 (1050点満点)
1	公益財団法人港区スポーツ ふれあい文化健康財団	可	A	731点

※ 財務状況評価基準

可（安定的に経営基盤を有している）、不可（安定的に経営基盤を有していない）

※ 資金計画評価基準

A：特に優れている、B：優れている、C：普通、D：やや劣っている、E：劣っている

(3) 選考経過

各委員が各候補者の提案内容の評価について意見交換を行いました。

事業者の名称	委員の意見
公益財団法人港区 スポーツふれあい 文化健康財団	・ 公共施設の管理運営や事業実績が多数あり、安定した施設運営が期待できます。 ・ 区民センターの役割を十分に理解した提案内容となっており、区と連携して区民センターに求められる役割を安定的に果たして行けるパートナーとして十分であるという印象を持ちました。 ・ 地域の拠点として麻布地域の特性を踏まえて、保育園や学童クラブ等との交流と連携事業や、地域団体との連携による自主事業が提案されている点などは評価できました。 ・ 利用者からのアンケートで高い評価を受けている点や、アクターズスクール、演劇教室やジャズバレエなど質の高い提案がされている点、地域団体との連携による自主事業が提案されている点などが評価できました。

以上の点を総合的に勘案して、採点集計表のとおり第一次審査通過者となりました。

2 第二次審査

(1) プレゼンテーション及びヒアリング

第一次審査通過事業者が10分のプレゼンテーションを行った後、管理運営計画書及びプレゼンテーションの内容に基づき20分のヒアリングを行い、選考基準により審査しました。

(2) 採点結果

選考委員ごとの評価した点数を合計し、全委員の採点した点数の合計と、第一次審査の合計点を総合点数として集計しました。

順位	事業者の名称	総合点数 (1,550 点満点)	第一次審査点数 (1,050 点満点)	第二次審査点数 (500 点満点)
1	公益財団法人港区 スポーツふれあい 文化健康財団	1, 1 1 1 点	7 3 1 点	3 8 0 点

(3) 選考経過

各委員が第一次審査事業者の管理運営計画書及びプレゼンテーションの内容の評価について意見交換を行いました。

事業者の名称	委員の意見
公益財団法人港区 スポーツふれあい 文化健康財団	・麻布・六本木の地域性を踏まえた具体的な提案が高く評価できました。麻布区民センターの事業展開を通じて、地域振興や活性化に寄与し続けるという思いが高く評価できます。 ・町会連合会とのコラボレーション、保育園、中高生プラザとのコラボレーション、地域団体との連携についても主体的に展開していくこと等、幅広い地域ネットワーク作りが期待できます。 ・施設利用者の安全確保、外国人対応、障害者雇用への取組が評価できます。また関係機関や地域との連携について、麻布区民センターの特徴を掴みながら、地域に出向いて直接声を聞きながら、地域の輪を広げていく姿勢が評価できます。 ・法人全体で、他受託施設と課題を共有して、麻布区民センターをバックアップする組織的な取組が評価できます。職員体制も人材の確保、育成、処遇など配慮しており、安定的に施設運営を行う事業者の姿勢と責任感に安心感を覚えました。 ・施設長予定者の資質については、地域の特性、国際性と多様性の豊かな街並みに対し、人材、言語、コミュニケーションを取るための意欲や、新たな事業展開への意識を深く感じ、今後の新たな発展の可能性が感じられました。

V 最終選考結果について

最終選考結果

選考基準に基づき高い総合評価を与えられるのは、「公益財団法人港区スポーツふれあい文化健康財団」です。選考委員会の総意として、「公益財団法人港区スポーツふれあい文化健康財団」を港区立麻布区民センター指定管理者候補者として選考します。